

下関市立大学

決断に必要な力を育て、「なぜ？」に強い人材を育成。

CLOSE UP

充実のキャリア教育制度で 高い就職率を実現

下関市立大学の2021年度卒業生の就職率は、コロナ禍にもかかわらず98.3%（就職者/465人、就職希望者/473人、22年5月1日）に達した。この高い就職率を支えているのがキャリア教育制度である。4年間で体系的に自らのキャリアについて考えることのできる科目が設定されたキャリア教育プログラムをはじめ、夏季休業期間中には3種類（国内・自由応募型・国際）のインターンシップによる就業体験学習を実施。また、課題解決型学習「PBL」では、企業・団体、学生、教員の三者が一体となってプロジェクトを進めることで、学生の課題発見力や課題解決力、コミュニケーション力の養成を目指す。

単科大学ならではのきめ細かなキャリア支援も魅力である。キャリアセンターでは、身近な社会人である

卒業生を招いて生きた情報を得る「キャリアアスタディ」、200社を超える企業を招いての「合同業界研究会」、就職活動に実践的に役立つ講座を行う「就活直前セミナー」、3年生の4月から1月にかけて毎週学ぶ「就職基礎講座」など、学生一人一人の背景や環境を理解し、個性や特長を把握して適切な支援を実施。さらに、ODA（ウーダ）ループを活用して企業・学生ニーズのマッチングを行うなど、先端の科学的アプローチも成果を挙げている。



1年次から行われる授業「キャリアデザイン」



韓昌完学長

「経済学の強みは、文理を超えた諸学問との高い融和性、人間の心理や行動を探るミクロ視点と、社会全体の変化を捉えるマクロ視点」

「経済学の強みは、文理を超えた諸学問との高い融和性、人間の心理や行動を探るミクロ視点と、社会全体の変化を捉えるマクロ視点」

もう一つ、韓学長が挙げたのは「リカレント教育（社会人の学び直し）」の充実である。人生100年

「リカレント教育（社会人の学び直し）」の充実である。人生100年

下関市立大学は、公立大学ながら西日本最大規模の経済学部を有する単科大学である。この春、第17代学長に就任した韓昌完学長は、「社会の期待とニーズに応えるべく、新時代における教育と研究への挑戦を行う」と抱負を語る。

「社会の期待とニーズに応えるべく、新時代における教育と研究への挑戦を行う」と抱負を語る。

経済学の強みを生かし 決断に必要な力を育てる

「何が正解か」を教わり覚える教育が一般的である。しかし、何が正解かわからない問題に次々と直面する不透明な未来を生きるためには、「なぜ？」を問う教育により、決断に必要な力を持つ人材を育成することが重要だといわれている。

「何が正解か」を教わり覚える教育が一般的である。しかし、何が正解かわからない問題に次々と直面する不透明な未来を生きるためには、「なぜ？」を問う教育により、決断に必要な力を持つ人材を育成することが重要だといわれている。

本州と九州および大陸との接点に位置する下関市は、地理的な特長から自然や文化の多様性にあふれている。この地で1956年に下関商業短期大学として開学し、62年に下関市立大学となつて60年。これまで多くの人材を全国に送り出してきた。世界が急速に変化する中、下関市立大学は多様性を力に新しい時代を見据えて、大きく生まれ変わろうとしている。



「旅館マネジメント」など4コースを展開するリカレント教育

from 在 学生

個性豊かな仲間と切磋琢磨し 未来を変える鍵を見つけました

私は国際関係論や国際政治学などを学びたいと考えていたため、国際商学科を選択しました。あまり興味のなかったマーケティングなどのおもしろさも発見できて、将来の可能性を広げることができました。また、ゼミを通して、「なぜ」を繰り返して根本原因を追究する力を身に付けました。この思考力は仕事をやる上で必要なものだと思います。

大学生活では国際協力サークル（WSK）での活動に打ち込み、タンザニアを訪れてボランティア活動に従事しました。卒業後は世界課題の解決に貢献できる人材になりたいと考えています。自分がやりたいことに対して強い意志を持ち、行動に移し、継続して取り組むことが未来を変える鍵だと、下関市立大学で学びました。



経済学部国際商学科4年
花井 さくらさん
(大阪桐蔭高等学校卒)

from 在 学生

自分を成長させてくれたのは 教職課程とゼミでの学びです

下関市立大学の魅力は、経済学部の単科大学であるため、経済学の知識を深く学べることです。経済学は社会を知る上で基礎となるもので、しっかり勉強すればニュースを見ることもとても楽しくなります。また、小規模な大学だからこそ深いつながりができるのも魅力だと思います。

ゼミ活動では教育経済学という分野に出合いました。私自身、教職課程を履修しており、教育についても学んでいたため、教育を経済学的に考えるというのがとても新鮮で、興味深かったです。さらに、教職課程で学んだ知識がそのまま経済学と結びつき、学んでいた知識がより深いものになると感じました。卒業後は一旦大学院へ進学し、より専門的な知見を得たいと考えています。



経済学部公共マネジメント学科4年
三輪 正太郎さん
(三重県立津西高等学校卒)

下関市立大学（公）

〒751-8510 山口県下関市大学町2-1-1
☎083-252-0288（代表）
https://www.shimonoseki-cu.ac.jp

【学 部】 経済学部（経済学科、国際商学科、公共マネジメント学科）、大学院経済学研究科（経済・経営専攻（修士課程）（経済コミュニティシステム・国際ビジネス領域、教育経済学領域）

時代、そして少子高齢化が進む日本では、一人一人の生産性を高めることが求められており、「それができるのは教育」だと言う。下関市立大学附属リカレント教育センターでは、既に社会に出ていた人たちの生産性を高めると同時に、社会的課題を解決するため、乳幼児教育の専門家や、日本の伝統を受け継ぐ旅館経営の専門家などを育成する四つのコースを開講。今年度は全国から延べ1000人を超える受講生を迎え、授業を行う。

一方、大学において一人一人の生産性を高める教育を行うためには、教育対象となる個々の学生の特徴を把握する科学的な取り組みが必要となる。そこで、下関市立大学では未来を見据えた革新的な学修成果評価システム「ESLO」（二人一人の強みや伸びしろを可視化する指標）を導入。「ESLO」は米国のトップクラス大学の指標なども参考にしているため、世界標準で自分の学修成果を捉えることができる。



下関市立大学全景

「学びの街、下関」を 下関市立大学から創る

今後は、これからの都市発展の鍵を握る研究分野である「データサイエンス」への参入などを目指す。「これから始まる新しい取り組みは、本学のみならず下関市全体の発展を牽引する試みであり、世界に誇る『学びの街、下関』を下関市立大学から創っていきたい」と熱く語る韓学長。経済学に特化した公立大学として、下関市立大学は新たな学長の下、率先して不透明な未来の frontline に立ち、荒波に航路を切り開いていくとしている。

OPEN CAMPUS

オープンキャンパス 2022

8/6(土) 8/7(日) 10:00~15:00 事前予約制



無料送迎
バス運行!

JR新下関駅東口・
福祉駅から

当日プログラム ● 大学紹介 ● 学科説明 ● 入試説明 ● 小論文対策講座 ● 個別相談 ● 市大生と語ろう ● 学内ツアー

下関市立大学オフィシャルLINE@
@shimonoseki.univ

オープンキャンパスや入試情報など、高校生・受験生に役立つ情報を定期的にお届けいたします。ぜひご登録ください。



公立大学法人
下関市立大学

入試課直通
TEL: 083-254-8611
〒751-8510 山口県下関市大学町二丁目1番1号
https://www.shimonoseki-cu.ac.jp

参加
お待ち
ます!



無料
ランチ

人気メニューを
学生食堂で

